

福山市地域包括支援センター引野通信



2019年 冬の取り組み

2019年(令和元年) 12月7日(土) 緑陽台居場所
出前講座『ACPって、な～に?』 10時半～11時20分

講師:蔵王病院 院長 日笠 哲先生
※包括職員が講座に同行させていただきました。

そこで、今回は広島県地域保健対策協議会と在宅医療・介護連携推進専門委員会 ACP 普及促進 WG 制作、平成30年12月発行冊子についてご紹介いたします。
表紙には『豊かな人生とともに～私の心づもり～アドバンス・ケア・プランニング』のタイトルとともに虹と6人家族とペットが描かれています。実物を手にされたかたもおられるかもしれません。開いてみると、真ん中に



A あなたの C ところに P びたつとよりそう
豊かな人生とともに

あなたが自分の考えを伝えられなくなった場合に備えて、
前もって受ける医療に対する希望を、
家族や医師に伝えておくことは重要なことです。

と、あります。

この手引きには、人生設計を考えるのと同じように、医療についても自分の考えを話し合い「私の心づもり」として文書に残すことで、自分自身の希望や思いが医療やケアに反映される。その手順として紹介されています。

ここで最も重要となるのは、一度書いたらそれで決定するのではなく、何度でも繰り返し考え話し合うことができるということです。

健康に不安があるのかないのかに関わらず一度話し合ってみるのはいかがでしょうか。
身近な人とは言いながら価値観は同じようにみえて、いがいと異なるものなのかもしれません…

地域サロンや学区の集いなど、ちょっと聞いてみても良いかなあという場合は下記の電話番号へご連絡ください。ACP メイト職員が話しを伝えに参ります。よろしくお願いいたします。



*ホームページも見て下さいね
『houkatsuhikino.rgr.jp』
『包括引野』で検索して下さい。



2019年冬号

編集・発行
福山市地域包括支援センター引野
2019年(令和元年)12月発行

みんなで「共生社会」をつくるためにシリーズ③

性別や年齢、障がいの有無に関わらず誰もがお互いを理解し支え合える社会を「共生社会」といいます。人権や尊厳を大切に相互に敬いの気持ちを持って生活出来る…そんな毎日が実現したら本当に素晴らしいと思いませんか?このシリーズでは様々な人が分け隔てなく暮らしていける社会になるよう、みんなで一緒に考えていけたらと思っています。(今号のテーマは「ヘルプマーク」です。)

【障がいや難病等への配慮】

障がいや難病等をお持ちの方が困りごとを周囲に知ってもらいたい時にはどうしたら良いでしょうか?どうしたら何かあった時、すぐに助けてもらえるように準備しておくことが出来るでしょうか?

【ヘルプマークって聞いたことありますか?】

ヘルプマークとは、障がいや疾患などがあることが外見からは分からない人が、支援や配慮を必要としていることを周囲に知らせることができるマークです。

【ヘルプマークの対象者は?】

障がいや疾患の基準はありません。
支援や配慮を必要とするすべての人がヘルプマーク使用の対象となります。

【ヘルプマークの使い方は?】

他者から見やすいカバン等に付けて使用します。
同封されている説明書と記入用シールに必要な支援内容や連絡先を記入しておくことで周囲の人にも理解してもらえます。

【ヘルプマークは何処で手に入るの?】

福山市の窓口で入手することができます。(代理人による受付も可能です)
郵送での受付も可能で送付先と名前を記入した返信用封筒と返信用切手(120円)を同封し、障がい福祉課へ郵送してください。原則1人につき1枚となっていますが、複数必要な方は窓口でご相談下さい。

街中で、このマークを見かけたら少しのご配慮をよろしくお願いいたします(*^_^*)

【お問合せ先】

福山市 障がい福祉課
福山市東桜町3番5号
電話:084-928-1062

